

平和の尊さを 引き継いでいくために こんな戦争体験も お待ちしております

本誌に寄せられた「戦争体験」は40通を超えました。命の危険にさらされたことや空襲の恐ろしさを伝えた貴重なお話に、多くの反響があります。引き続きの投稿よろしくお願ひいたします。

同時に、日々の暮らしの視点から見る（伝える）戦争体験も掲載していきたいと思ひます。

戦争によって働き手が減り、食べ物に困窮する生活、そして歌も遊びも変わりました。学校も尋常小学校から国民学校となり、教育も標語も戦意高揚、「隣組」という組織ができて大変窮屈になりました。みなさんは灯火管制の時、どんなことをされていましたかー

このような暮らしにまつわる体験もお待ちしております。50字、100字の短文でも結構です。より多くの方からの投稿をお待ちしています。編集委員会
お問い合わせ 友の会事務局 (TEL) 072-244-8061

※イラストもみみはらで作成した戦争体験記より掲載

尼崎のあたりが燃えていたのが見えた

切山 義一(78歳)
(堺市南区若松台)

夜になると、サーチライトで照らして飛行機を探していた。朝になると、畑にギンガミが落ちていた。日本軍がまいて電波除けをしていた銀紙を、拾いに行つて持ち帰り遊んだ。大浜に高射砲(大、小)があった。食べるのは不自由しなかった。タバコを乾燥させる小屋があつて疎開の人に貸していた。タバコの本を役所の人が見に来て、何枚葉っぱがあるか数えていた。一枚いくらと買い上げる、軸は燃やして燃料にする、1回タバコを作るとその土地は2、3年使えない(あくが強いのだ)。母親は、まわりの人たちに干

寄稿 私の戦争体験 (39)

戦争体験手記募集を見て、お寄せいただいた手記を順次掲載しています。

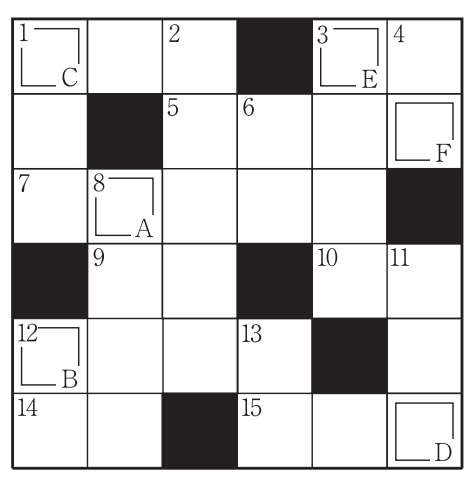
人針してもらい、兵隊に行くのを村中が送った。5歳の時に、父を海軍に送るのに家族写真を撮ってもらった。父は呉に2年いて、広島に原爆が落ちて手伝いに行った。北野田の富士車両が軍事工場だった。菜葉木(くみのき・河内長野の手前)に偵察機が落ちた、低空飛行で来てどこかに当たった(らしい)。亡くなった人をムシロに乗せて墓まで運んだ。米兵も人間、放置できないと。両親の墓参りに行くと思ひ出す。

祖父は雨の日、藁草履を作っていた。戦後は散髪屋さんに行くのに、コメが良いと米を持って行った。コメのないところは物々交換、町の人はチョコや石鹸、チューインガムを持ってきて、コメと交換した(町の人はアメリカ兵にもらったものを食べずに持ってきた)。コメを経済警察が取り締まっていた。皆、電車を降りて逃げた。

お楽しみクイズ クロスワードパズル

●応募方法/郵便ハガキにクイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・友の会に対するご意見等を記入のうえ、あて先/〒590-0821 堺市堺区大仙西町6丁184-2 友の会事務局「お楽しみクイズ」係あてにて郵送ください。
●しめきり/2020年3月11日(水)消印有効
●当選発表/厳正なる抽選の上、10人のかたに賞品(図書カード5000円分)を、賞品の発送をもって発表に替させていただきます。
●クロスワードパズル解答はがきに書かれた「ご意見」は、紙面に掲載させていただきます。ご了承ください。

カギを解き、二重ワクに入る文字をABC順に並べてできる言葉は何?



- タテのキー
- ①練習。小唄の――
 - ②透明度で有名な北海道の湖
 - ③こっそり盗むこと
 - ④ペア
 - ⑤「といえばかあ
 - ⑥冗談の文句
 - ⑦に皺を寄せる
 - ⑧だるま、――合戦
 - ⑨金持ちな「黄金虫」が
- 建てるもの?
- 「ト」のキー
- ①――の高飛び歩の餌食
 - ②お――ごもつともです
 - ③權威が――した
 - ④配偶者の兄弟姉妹
 - ⑤ご――の方はこちらまで
 - ⑥――は広いな大きい
 - ⑦日暮れどき
 - ⑧日本の秋を飾る花
 - ⑨線。オン――

●12号の答「クリスマスイブ」
●応募数/114通

短歌

安倍さんの後世に残す数手柄
もりかけ桜に添えたシュレツダー
シユプールでハートえがきし夫の笑顔
今も鮮やかあの日あゝの時間

俳句

石焼き芋の売子の声の懐かしき
初寝覚今年世直しなす年ぞ
冬晴れに叫ぶ反戦ママ友と

川柳

9条を壊すな総理派兵ダメ
桜を見る会の総理の疑惑はそのままに

*句を詠む時の情景や思いもお寄せください。
*俳句・短歌・川柳の次回締め切りは、2020年3月11日(水)です。
*特に、俳句・短歌のご応募お待ちしております。

上田 邦夫
手嶋喜代子
手嶋 光生
林 研
田村 美穂
堺谷九条男
安東 利彦

編集後記

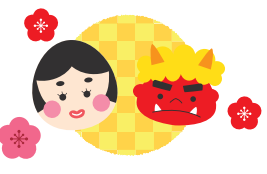
年末に初めてインフルエ
ンザに感染した。年内に片
付ける予定の仕事も放つた
まま年越しをした。インフ
ルエンザの辛さもちよつと
だけ分かったし、人に移し
てはいけないプレッシャー
もちよつとだけ感じた。年
末の大掃除も、気持ちよく
迎える新年も諦めたけど、
インフルエンザのおかげで
1年の疲れは癒せたかな。
休むことにまだまだ罪悪
感のある私たちの世代。イ



会員さん紹介 ③⑧
もず支部
いのうえみちこさん
井上美智子さん

私にとって初飛行が外国で、機内で緊張したのを覚えています。日米の桜女王は、眩しいくらい美しく、アメリカの女王の和服姿もよく似合っていました。当日私たち一行は騎馬隊に先導されて、薙刀を振りながら行進しました。薙刀以外に呉服屋さん一行など和に関する人々もいて、パレードに参加していました。日本髪を結う人、着付けなどの仕事で生活できるようです。

今の私は脚を痛めてから稽古不足で、新春初稽古に参加してみても、いよいよ退き際を考えようと思ひます。幸いなことに、友の会もず支部の小物づくりの一人として、作品づくりを楽しんでいきます。令和2年を迎えて「エイッ トッオー」と前進あるのみです。



ンフルエンザにならなくて、きちんと休養をとるといふ頭に切り替えないと。ゆとりをもって、本もたくさん読んで、いいものを見聞きして、平和で福祉力あふれるまちづくりに貢献できる「とも」をめざして頑張りたい。
(明)